

令和7年度岩手県林業技術センター試験研究評価実施結果

1 目的

(1) 試験研究の効果的・効率的な推進を図るため試験研究評価を実施する。

試験研究課題の選定から試験研究終了後の成果の普及に至るプロセスに関し、適切な評価を実施することにより、効果的・効率的な試験研究の推進を図る。

(2) 評価等の客観性・透明性を確保するため、県の組織に属さない外部有識者等を会員とする外部評価を実施し意見を聞く。

2 外部評価協議会の開催日時等

(1) 日時 令和7年10月22日(水) 13:30~16:00

(2) 場所 岩手県林業技術センター 講義室

3 評価会員

岩手県林業技術センター所長が選任する。

所 属 等	氏 名
国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所 東北支所長	山中 高史
国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター 東北育種場長	三重野 信
岩手県立大学 研究・地域連携本部 地域連携コーディネーター	渋谷 晃太郎
ノースジャパン素材流通協同組合 理事長	鈴木 信哉

4 研究課題に対する総括評価結果

課 題 名		総括評価 (※)	総括評価に関する主なコメント
大規模林野火災モニタリング調査事業	新規	A : 3 B : 1 C : 0	<ul style="list-style-type: none"> 被災された自治体等で情報が求められており、重要性は高い。 材の評価については緊急性を要するため、手厚く行う必要がある。 他の研究機関と連携して研究を進める必要がある。
カラマツ優良種苗の安定生産に向けた技術体系化	継続	A : 3 B : 1 C : 0 D : 0	<ul style="list-style-type: none"> 種子の前処理やさし木増殖技術について生産者への情報発信を積極的に行っている。今後も継続していただきたい。 気候変動への適応についても検討をお願いしたい。 獣害対策は早急に実施していただきたい。 種苗供給増に向けて速やかに普及すべきである。
人工林アカマツ材の集成材利用技術の開発	継続	A : 3 B : 1 C : 0 D : 0	<ul style="list-style-type: none"> 人工林アカマツ材の集成材ラミナとしての利用の実用化に向けて有用な知見が得られている。 住宅メーカーが採用する際の重要なデータである。 県産アカマツ材の利用促進への活用を期待できる。
原木シイタケ安全安心栽培技術の開発	継続	A : 3 B : 0 C : 1 D : 0	<ul style="list-style-type: none"> 岩手県内におけるキノコ栽培の再開に向けて基盤となる知見の集積が進んでいる。 現場での技術指導や行政政策への活用が期待される。 早期の原木シイタケ収入確保への新システム提案が必要である。

※ 総括評価 【終了課題】 A : 目的を達成 【新規課題】 A : 優先的に実施
B : 目的をほぼ達成 B : 早期に実施
C : 目的を未達成 C : 計画見直し等

【継続課題】 A : 十分な成果が期待、優先的に取り組む必要
B : 一定の成果が期待、継続して取り組む
C : 見通し、計画再考
D : 中止